

6つの施策の取組方針

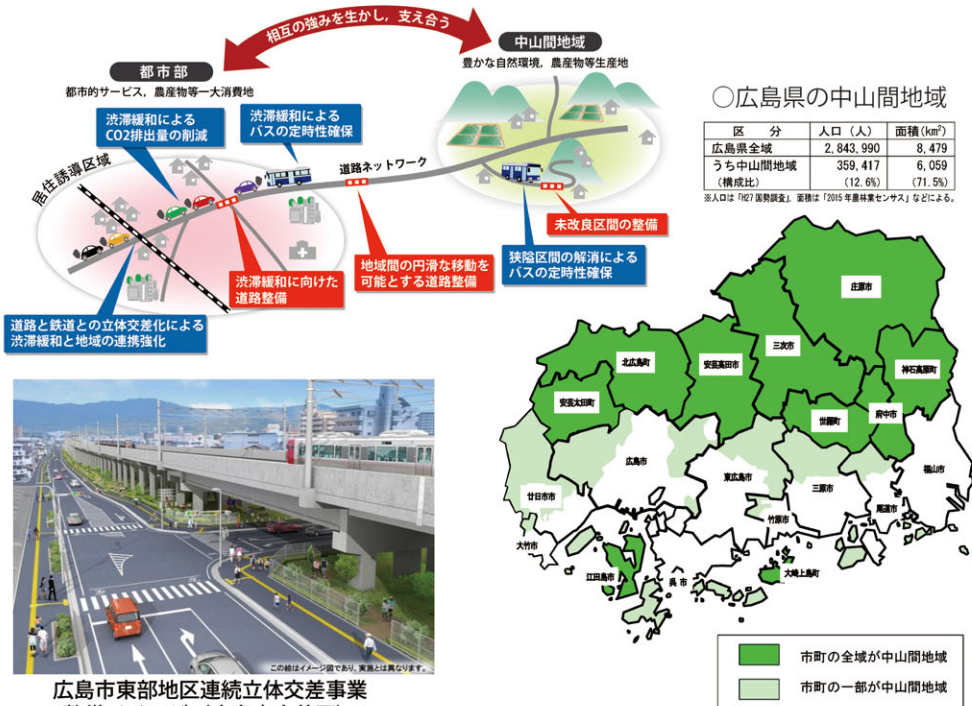
5

コンパクトで持続可能なまちづくりに資する道路整備

取組の方向

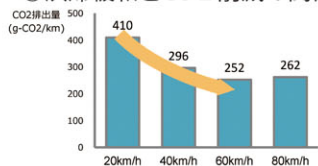
- 中山間地域・島嶼部など地域を支える道路整備の推進
- 渋滞を緩和する道路の改善及び市街地を一体化する鉄道との立体交差化
- コンパクト+ネットワーク型のまちづくりを支える道路整備
- 既存道路を有効活用した局部的な線形改良や待避所設置

○主要都市間の連携を強化する道路整備のイメージ



広島市東部地区連続立体交差事業整備イメージ(広島市安芸区)

○渋滞緩和とCO2削減の関係



○再生改良事業の事例



6

道路施設の適正な維持管理

取組の方向

- 「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」及び「修繕方針」に基づく計画的なインフラ老朽化対策の推進
- 道路施設の日常的な維持管理の適切な実施

日常的な維持管理情報(維持管理データ)

- ・ 県民からの要望
- ・ 維持修繕履歴
- ・ 被災履歴
- ・ 各種施設台帳

日常的な維持管理の適切な実施



道路維持管理システム(PDCAサイクルの構築)

様々な維持管理情報を一元的に管理・分析し、戦略的・効果的に維持管理を行います。

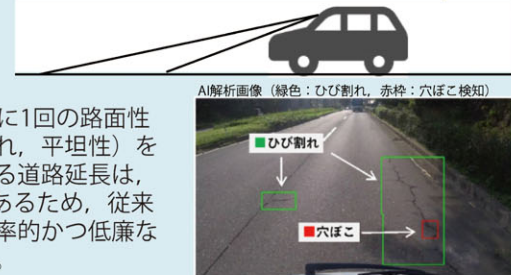
計画的な維持管理情報(アセットマネジメントシステム)

- ・ 施設の諸元
- ・ 点検計画, 点検結果
- ・ 補修計画, 補修履歴

アセットマネジメントによる計画的な維持管理の推進



AIを活用した路面性状の把握



舗装は、週1回の道路巡視や5年に1回の路面性状調査(ひび割れ率, わだち掘れ, 平坦性)を実施しています。本県が管理する道路延長は、約4,200kmと膨大な施設規模であるため、従来の調査手法にとられない、効率的かつ低廉な調査手法が必要となっています。